

第40回 心身健康科学サイエンスカフェ

「疲労」概念の検討 ～民俗学・文化人類学の立場から～

人間総合科学大学人間科学部
心身健康科学科 准教授

中山 和久 先生



平成30年8月17日(金) 17:30 - 18:30
会場：人間総合科学大学 蓮田キャンパス
参加費： 無料 受付：17:00～
※今回のみ、時間・会場が異なります

【講師より】「夏バテ」の言葉が創り出されたように、夏は暑さに負けて疲れ果てることから、「疲労」に特に関心が高まる季節となっています。実際、栄養ドリンク剤も飛ぶように売られています。

そんな「疲労」について、心身健康科学では、肉体的問題だけでなく、精神の問題をも含めて考えてみたいものです。わたしたち日本人の民俗でも、「疲労」は、「からだ」だけではなく、「こころ」に対しても用いられることがしばしばあります。そして、「からだの疲労」と「こころの疲労」は関連するとも考えられています。

では、その「疲労」とは、どのような「からだ」や「こころ」の状態を指すのでしょうか。言葉の多くは、何らかの物理的（生理的／心理的）な現象に対して創案されてきましたから、言葉を分析することで、どのような現象を中核に見据えるべきなのかが明らかになるかもしれません。

「文化」の立場からの、「疲労」概念の検討をお話しできたらと思います。

人間総合科学大学 蓮田キャンパス
(埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288)
JR 蓮田駅から 徒歩13分

《お問い合わせ、お申し込み》

人間総合科学心身健康科学研究所

E-mail jshas@human.ac.jp

☎ 048-749-6111

webからも申し込めます

